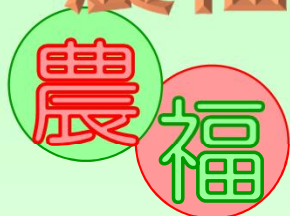


農福連携推進 東北ブロック シンポジウム



農福連携による障害者の農業分野への就労促進は、「障害者基本計画(第4次)」(平成30年3月閣議決定)に位置づけられています。

また、超高齢者社会を迎えつつある中、「高齢社会対策大綱」(平成30年2月閣議決定)では、育成・確保すべき多様な農林漁業者の中に高齢者が位置づけられています。

こうした政府の取組に加え、農福連携を実践している方々の現場の声を発信することで、より一層、取組を促進するため、東北ブロックシンポジウムを開催します。

日時 平成31年1月24日(木) 13:30~17:15

(開場13:00)

会場 仙台合同庁舎A棟 8階講堂
(宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1)

**参加費
無料**

プログラム

1. 基調講演

農林水産政策研究所 首席政策研究調整官 吉田 行郷 氏

「農福連携で何が変わるか？」

～農福連携による地域農業・地域社会への貢献～

2. 施策紹介

東北厚生局、宮城労働局、東北農政局

3. 取組事例発表

有限会社 内外ファーム

農事組合法人 横手マッシュセンター

社会福祉法人 月山福祉会

特定非営利活動法人 みやぎセルフ協働受注センター

4. パネルディスカッション

「東北地方における農福連携の可能性について」

※出演者及び内容は変更する場合がございます。

お申し込み

**申込期限
1月18日(金)まで**

電子メール(noufuku_net@tohoku.maff.go.jp)、
FAX(裏面参加申込書)、またはお電話でお申し込み下さい。

※先着順に受付け、定員(120名)になり次第締め切らせて頂きます。

主催:東北農政局／後援:東北厚生局、宮城労働局

お問合せ先 TEL022-263-1111
東北農政局農村振興部農村計画課
鈴屋、田村(内線4125、4065)

農福連携推進東北ブロックシンポジウム

平成31年1月24日(木)13:30~17:15

仙台合同庁舎A棟8階講堂

農林水産政策研究所 首席政策研究調整官
吉田 行郷 氏 プロフィール



専門分野は農業分野での障害者就労、集落営農組織、国内産麦の需給及び流通、震災復興、英国のフードシステム等。

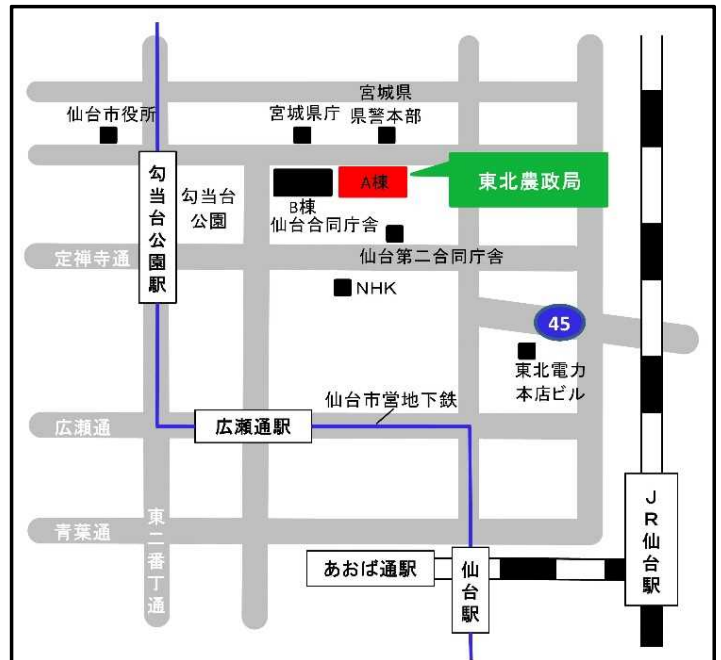
1985年、東京大学農学部農業経済学科を卒業し、同年に農林水産省入省。構造改善局地域計画課、大臣官房調査課、大臣官房企画室等での勤務を経て、2005年より農林水産政策研究所にて政策研究調整官として勤務。2015年に博士号を取得。2016年より現職。

《会場へのアクセス》

- 徒歩：仙台駅から約15分
- バス：仙台駅前→県庁市役所前 約10分
- 地下鉄：仙台駅→勾当台公園駅 約10分

※ 駐車場はございません。
ご来場には公共交通機関をご利用願います。

※ A棟1階正面玄関（県警本部側入口）にて受付係が入館証を発行しませんが（お帰りの際に返却となります）。



『農福連携推進東北ブロックシンポジウム』 参加申込書(参加費無料)

- ◆ FAXの場合は、下記の参加申込書に必要事項をご記入いただき、事務局あてに送信して下さい。
- ◆ 電子メールの場合は、下記の参加申込書と同様の記載内容を本文として入力もしくは記入済み申込書のPDF等を添付いただき、事務局あてに送信して下さい。
- ◆ お電話でのお申し込みもお受けいたします。

申込締切：1月18日(金)

フリガナ		
氏名	都道府県	市区町村
職業(会社)・学校 役職		
TEL	FAX	
E-mail		

- ※ 先着順に受付、定員(120名)になり次第締め切らせて頂きます。
- ※ ご提供頂いた個人情報につきましては、本シンポジウム運営以外には使用しません。

【お申込先】東北農政局農村振興部農村計画課

FAX:022-216-4287 E-mail:noufuku_net@tohoku.maff.go.jp

TEL:022-263-1111(内線4125, 4065)

※お電話での受付は月～金曜日(祝日を除く)の9:15～18:00までとなります。